

要防除水準(水稲病害)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	葉いもち	-	見取り調査	葉いもちの急性型病斑が見られる場合や、上位葉に病斑が見られる場合	即時		佐賀県
水稲	穂いもち	-	本田での見取り調査	葉いもちの病斑数が多く、急性型病斑が見られるなど、穂いもちの多発生が予想される場合	穂ばらみ期後期と穂揃い期に防除	多発生の場合	佐賀県
水稲	穂いもち	-	見取り調査	葉いもちの発生が見られる場合	出穂期に必ず防除	並発生の場合	佐賀県
水稲	いもち病(葉いもち)	5～8月	予測:アメダス気象データを用いて、いもち病発生予察システム(BLASTAM:広島県用に一部修正)により、感染好適条件出現の有無を判定する。		(1)予防粒剤:出現日～10日後 (2)粉剤等:第2世代感染予測日		広島県
稲	葉いもち(中山間地対象)	6月6日～20日	BLASTAM好適条件出現数	4回以上(中山間地の4アメダスポイントの合計値)	6月下旬(水面施用剤)	長期持続型箱粒剤を施用していない場合	山口県
水稲	いもち病	育苗～植え付け直後	見取り調査	苗に症状が認められたら	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
水稲	いもち病(葉いもち)	止葉始とその1週間後(7月10日以前は不要)	見歩き調査、1圃場あたり10mずつ4ヶ所	病株1株以上	即時		北海道
水稲(ハナエチゼン・コシヒカリ・キヌヒカリ等)	紋枯病	随時	ほ場内の任意の2地点において、畦から10列目の株を各50株(計100株)調査する	発病確認後	即時	(防除要否の目安)	滋賀県
水稲	紋枯病(地域単位)	7月10日頃	1地域20圃場、1圃場100株の発病株率	平均発病株率8%以上:2回散布・平均発病株率8%以下:7月20日頃の調査実施	穂ばらみ期・穂揃い期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県
水稲	紋枯病	7月中旬(早生穂ばらみ期)	発病株率調査、圃場あたり100株	10%/100株	即時		福井県
水稲	紋枯病(地域単位)	7月20日頃	1地域20圃場、1圃場100株の発病株率	平均発病株率10%以上:1回散布・平均発病株率10%以下:7月末～8月初旬の調査実施	出穂期直前～出穂期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県

要防除水準(水稲病害)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	紋枯病	7月下旬(中生穂ばらみ期)	発病株率調査、圃場あたり100株	20% / 100株	即時		福井県
水稲	紋枯病	7月末～8月上旬	見取り調査	病茎率10%以上	即時		北海道
水稲	紋枯病(地域単位)	7月末～8月初旬	1地域20圃場、1圃場100株の発病株率	平均発病株率20%以上:1回散布・平均発病株率20%以下:防除不要	出穂期～穂揃い期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県
普通期水稲	紋枯病	8月上旬(幼穂形成期初期)	見取り調査	発病株率20%以上	即時		鹿児島県
稲	紋枯病	幼穂形成期～穂ばらみ期	見取り調査	発病株率15～20%	即時		埼玉県
水稲(コシヒカリ)	紋枯病	穂ばらみ期	1圃場あたり、25株×2ヶ所の計50株で調査	発病株率18%以上	即時		鳥取県
水稲	紋枯病	穂ばらみ後期	水田中央部の見取り調査、1筆あたり5条おきに20株、計100株調査	はえぬき:発病株率10%以上・ササニシキ:発病株率7%以上	即時		山形県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査	発病株率20%以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
稲	紋枯病	穂ばらみ中期(出穂14日前頃)	見取り調査	発病株率 15～20%以上	穂ばらみ期		山口県
水稲	紋枯病	普通期栽培の穂ばらみ期	見取り調査 25株×2ヶ所調査	発病株率 5～20%	穂ばらみ期～出穂期		愛媛県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	-	早生・中生種で発病株率15%以上・晩生種で20%以上	穂ばらみ期～出穂期(多発が見込まれる場合、穂揃期にも防除する)		宮城県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	発病株率:調査ほ場内よりランダムに選んだ25株の発病の有無を判定する。	(1)早生種:10%以上 (2)中生種:20%以上	幼穂形成期～出穂期		広島県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査、1圃場の任意の100株で発病状況を調査	発病株率 (1)早生:5% (2)中生:15% (3)晩生50%	出穂期前		富山県

要防除水準(水稲病害)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期～出穂期	5列×5株=25株を調査し、発病株率を算出	発病株率15%以上	出穂直前～出穂期		秋田県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期(普通植栽培)	見取り調査、畦畔付近の25株について発病状況を調査	発病株率20%以上	出穂直前または穂揃い期		岐阜県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期～出穂期	畦畔際から5～6歩入り、そこから中央に向かって25株見取り調査する	早生種:15%・晩生種20%	出穂期		岩手県
水稲	紋枯病	出穂10日前～出穂期	見取り調査、1圃場あたり50株を調査	発病株率20%	即時		群馬県
水稲	紋枯病	出穂10日前	見取り調査	病株率25%	即時		香川県
稲	紋枯病	出穂10日前および20日前	1圃場あたり任意の50株×2ヶ所について発病株率を調査	【普通栽培】(1)出穂20日前の発病株率:30%以上(2)出穂10日前の発病株率:40%以上	即時		岡山県
稲	紋枯病	出穂10日前および20日前	1圃場あたり任意の50株×2ヶ所について発病株率を調査	【早植栽培】(1)出穂20日前の発病株率:5～10%以上(2)出穂10日前の発病株率:10～15%以上	即時		岡山県
水稲(箱粒剤無施用の場合)	紋枯病	出穂14～7日前	見取り調査	発病株が認められる場合	出穂期～出穂14日後	箱粒剤無施用の場合	佐賀県
水稲(コシヒカリ)	紋枯病	出穂前15～20日	1圃場あたり、25株×2ヶ所の計50株で調査	発病株率25%以上	即時		鳥取県
水稲	紋枯病	出穂15日前頃	見取り調査。1圃場あたり任意の25株について発病状況を調査	発病株率15%以上	穂ばらみ後期まで		千葉県
稲	紋枯病	出穂20日前頃	見取り調査	発病株率20%	即時		京都府
水稲(日本晴等)	紋枯病	出穂20日前	ほ場内の任意の2地点において、畦から10列目の株を各50株(計100株)調査する	発病株率:15～20%	即時	(防除要否の目安)	滋賀県

要防除水準(水稲病害)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲(コシヒカリ以外の品種)	紋枯病	出穂前20日	1圃場あたり、25株×2ヶ所の計50株で調査	発病株率20%以上	即時		鳥取県
水稲	紋枯病	出穂20日前	見取り調査	病株率10~20%	即時		香川県
水稲	紋枯病	出穂期	水田中央部の見取り調査、1筆あたり5条おきに20株、計100株調査	はえぬき:発病株率15%以上 ササニシキ:発病株率10%以上	即時		山形県
水稲(箱粒剤施用の場合)	紋枯病	出穂期	見取り調査	発病株率が10%を超え、上位葉への進展が予想される場合	出穂期~出穂14日後	箱粒剤施用の場合	佐賀県
水稲(箱粒剤無施用の場合)	紋枯病	出穂期	見取り調査	発病株率が10%を超え、上位葉への進展が予想される場合	出穂期~出穂14日後	箱粒剤無施用の場合	佐賀県
普通期水稲	紋枯病	穂揃い期~乳熟期	見取り調査	発病株率40%以上	即時		鹿児島県